

サブリナフロアブルは油剤成分とBT剤の特徴を持ちコナガ卵と幼虫に有効

サブリナフロアブルは油脂成分とBT剤の特徴を併せ持つ薬剤で、重要害虫であるコナガに対して効果が高い

背景・目的

- ・油脂成分が配合されているBT剤のサブリナフロアブルは、コナガの卵、幼虫に対する効果の程度は不明
- ・サブリナフロアブルのコナガのふ化幼虫およびキャベツほ場での効果の解明が必要

成果の内容

表 各種BT剤がコナガ卵、ふ化直後の幼虫に与える影響

| 供試薬剤名 | 希釈 倍数 | 未ふ化 卵率 (%) | ふ化直後の 幼虫死亡率 (%) |
|------------------|--------------|---------------|--------------------|
| サブリナフロアブル | 1000倍 | 0.0 | 72.0 |
| ゼンターリ 顆粒水和剤 | 1000倍 | 0.0 | 0.0 |
| フローバック DF | 1000倍 | 0.0 | 0.0 |
| デルフィン 顆粒水和剤 | 1000倍 | 0.0 | 0.0 |
| エスマルク DF | 1000倍 | 0.0 | 0.0 |
| チューンアップ 顆粒水和剤 | 2000倍 | 2.0 | 0.0 |
| トアロー水和剤 CT | 1000倍 | 0.0 | 0.0 |
| 無処理 (水) | — | 0.0 | 0.0 |

サブリナフロアブルは他のBT剤と同様、コナガに対する殺卵効果がないものの、ふ化直後の幼虫に対しては殺虫効果あり。

サブリナフロアブルは他のBT剤に比べて、散布11日後まで補正密度指数が低く推移。

■ 散布11日後 ■ 散布8日後 ■ 散布4日後

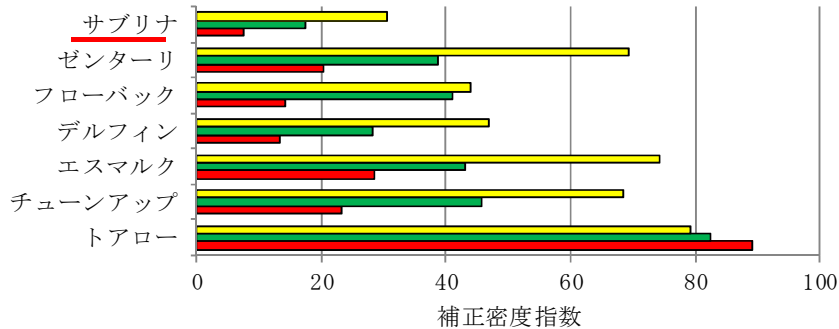


図 キャベツほ場での各種BT剤のコナガに対する効果

導入メリット



キャベツほ場でのコナガによる被害状況

- ・他のBT剤に比べて効果が高い。
- ・体系防除の1剤に利用が可能。
- ・化学合成農薬の使用を減らせる。

期待される効果

- ・コナガに対して概ね散布10日後までコナガの密度を抑制できる。
- ・サブリナフロアブルは生物農薬であり、環境にやさしい農業に寄与できる。

普及対象・範囲
アブラナ科野菜栽培農家